

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	"デザイン・カウンスル"による早期退職者向け「高度専門職育成プログラム」の開発		
法人名	学校法人 創造社学園		
学校名	創造社デザイン専門学校		
代表者	理事長 明上友幸	担当者 連絡先	松村 眞吾(まつむらしんご) TEL 06-6452-5541

1. 事業の概要

(事業主題・ねらい)

デザイナーに求められる能力の中心は、アートのデザインからマネジメントの階層を担うデザイン力に急速にシフト(デザインのパラダイム・シフト)してきており、若年層がこれまでに習得してきた職人的な専門的知識や技術だけでは役に立たないことが増え、デザインの評価軸の"ずれ"が若年者の早期離職の大きな原因の一つになっています。本校をコアに労働需要の時代変化に継続的に取り組むべくデザインの職業団体、振興組織、産業振興機構、国際交流組織などで"デザイン・カウンスル"を設置し「高度専門職育成プログラム」事業を興して早期離職の大きな原因であるデザイン需要の変容に対応する事業を行った。

(実施内容)

実施内容は、早期離職の大きな原因であるデザイン需要の変容に対応する為に(1)デザインのパラダイム・シフトに対応できる専門職(デザイナー)の質的な高度化に対応した「高度専門職育成プログラム」を主としたプログラム全体の開発。(2)講座内容や受講申込、受講生管理に至る受講生指導の為に一貫したインタラクティブな情報共有システムとしての「デザインカウンスルWEBサイト」の開発。(3)早期離職者が必要とする多様で高度に専門化された学習の機会として提供できる運営の事業枠組み開発を一体的な事業として実施した。

(1)「高度専門職育成プログラム」を主としたプログラム全体の開発

①デザイン・カウンスルに提供する本校独自講座の開発

○早期退職者向け高度専門職育成プログラムとして以下の36講座の開発

○以下の系統の講座を全て網羅する形で20講座(360時間)の実施

(a)デザイン・マネジメント系: 5系統 20講座

デザインの視点で企画や製造、販売部門の統御能力を担う講座。

分野	1) ストラテジー・リーダーシップ系	(新しいビジネス創造)
	2) バリュー・クリエイション系	(新しい技術・仕組みの創造)
	3) セールス・プロモーション系	(説得力のあるプロモーション)
	4) オペレーション・マネジメント系	(効率的なオペレーション)
	5) マネジメント・エフェクティブネス系	(人と組織の管理)

(b)デザイン・プロデュース系: 4系統 4講座

新規商品やビジネスの創造、開発を企業トップと対等な立場で行うなどブランド戦略の創設・管理を担う講座。

分野	1) コーポレート・アイデンティティ系(CI)	2) ビジュアル・アイデンティティ系(VI)
	3) ブランド・アイデンティティ系(BI)	4) プロダクト・アイデンティティ系(PI)

(c)デザイン・ソリューション系: 3系統 12講座

ユビキタス、ユニバーサル、エコロジー、インタラクション、TUIをテーマとしたソリューション講座。

分野	1) インタラクション系	2) 商品・製品系	3) 空間・環境系
----	--------------	-----------	-----------

②高度専門職育成プログラムのインフラ整備事業

○専門課程最適化(早期離職者の補完)のプログラムとして以下の24講座の開発

分野	(a) 造形・表現系	:	3分野	10講座
	(b) 総合基礎系	:	1分野	5講座
	(c) 専門デザイン系	:	2分野	9講座

③その他のプログラム開発

○デザイン・カOUNシルの講座「標準体系」の開発 … 1プログラム(一式)

独自開発講座、共同開発講座、提供講座等の講座認定の為の「課題設計フレーム」

デザイン・マネジメント系、デザイン・プロデュース系、デザイン・ソリューション系

(2)「デザイン・カOUNシル」WEBサイトの開発

①受講生管理、指導の為の一貫したシステム構築(機能の体系化)

②上記、WEBサイトの構築

(3)「デザイン・カOUNシル」運営の事業枠組み開発

早期離職者が必要とする多様で高度に専門化された豊富な教科課程を柔軟な時間帯に提供する為の本校を主とした外部デザイン関連のステークホルダーと共同運営する「デザイン・カOUNシル」の組織づくりと継続性と採算性を担保する講座運営システムの開発

(a) 会則(設立趣意、活動方針、規約)

(b) 継続性と採算性を担保する講座運営システムの開発

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

a) 専門的知識・技能をすでに有する早期離職者を対象にデザイナーの質的变化を求める新たに高度な職種への再チャレンジを目的とした柔軟で専門的、実践的な「高度専門職プログラム(36講座)」とその標準体系が開発できた点。

b) 早期離職者・受講生やカOUNシルメンバーの会員が利用する講座案内や受講申込、受講生管理に至る受講生指導の為の一貫したインタラクティブな情報共有システムとしての「デザイン・カOUNシルWEBサイト」を構築し立ち上げた点。

■「デザイン・カOUNシルWEBサイト」URL:<http://www.designcouncil.jp>

c) 上記、プログラムの運営を担保するインフラ開発を含めカリキュラムの高度化と多様化に多チャンネルに対応する「デザイン・カOUNシル」組織の発足に向けて基礎部が完成した点。

② 事業により得られた成果

本事業の成功は継続性と採算性にあり、そのためには一定の規模を確保し、早期離職者が必要とする多様で高度に専門化された豊富な教科課程を柔軟な時間帯に早期離職者の需要だけで維持できる構造体として開発できたこと。

これらは新たに設置予定の「高度専門士」の教科課程の一部と併用するほか、高度専門士を維持するため高度専門士の教科課程の下部構造とすべき既存の2年制の教科課程の「最適化開発」が完成し、学則変更(教科課程の改定)として提出、平成20年2月8日付で大阪府に受理されています。

a) 高度専門士課程(4年制)教科課程とその学則の完成

・早期離職者の高度専門職育成プログラム

b) 職業能力高度化課程「ジョブ・ナビゲーションコース」のプログラム完成

・早期離職者の就職に繋げる就業支援プログラム

③ 今後の活用

- a) 当事業で開発した「高度専門職プログラム(36講座)」をデザイン・カウンスルが行う講座として提供するとともに、「高度専門士課程(4年制)(設置認可申請予定)」の高度専門士科目群として用います。
- b) 「デザイン・カウンスルWEBサイト」で構築したコミュニティを本校学生、早期離職者並びにデザイン業界関係者などが双方向で意見交換できる場として今後も引き続き維持し、デザイン業界の発展に貢献します。
- c) 「高度専門士課程(4年制)」(設置認可申請予定)の高度専門士科目群として用います。

④ 次年度以降における課題・展開

- a) 早期離職者向けの「高度専門職育成プログラム」を「デザイン・カウンスル」を組織して開発しましたが、継続事業としてデザインカウンスルをNPO法人化するための研究・開発を行い“産学連携教育”の持続的発展を期する。

尚、準備委員として、実施委員会のメンバーの内、(財)国際デザイン交流協会、(社)インテリアデザイナー協、近畿経済産業局 産業部流通サービス産業課から引き続き内諾を得ており、今後、他のデザイン分野を網羅する形で進めていきます。

- b) また、上記発足に伴い、当事業で開発した、デザイン・カウンスルの講座「標準体系」を軸にカウンスルと共同で開発する“共同運営講座”、カウンスルのメンバーが本校に提供する“提供講座”、カウンスルが認定する“外部講座”で構成し、早期離職者の為のカリキュラムを多チャンネルで対応していきます。

3. 事業の実施に関する項目

① ニーズ調査等

実施委員等を団体、その他のステークホルダーで構成するため委員の意見に調査の目的がそもそも集約されますのでニーズ調査など各種調査は行いません。

② カリキュラムの開発

本校の独自開発講座は、専門的知識・技能をすでに有する早期離職者を対象にデザイナーの質的变化を求める新たに高度な職種への再チャレンジを目的とした柔軟で専門的、実践的な「高度専門職プログラム」(36講座)開発及び、そのプログラムの標準体系の開発を行った。

これらは、マネージメントの階層を担うデザイン力(求められる人材像)の職域を網羅した以下の3系統の能力要素を課題設計フレームとしてプログラムを策定した。特に各系統の講座に求められる多様な視点を必要とすることから、代表執筆者を主軸に各専門的ブレインが検証を行うチームで開発を行った。

- デザイン・マネージメント系プログラム 「運営自立型デザイナーの養成」
ビジネスを成功へ導くためのイノベーションを推進し、プロジェクト運営などの仕組みづくり創出能力を養う。
(アドバンス・リテラシーの強化)
- デザイン・ソリューション系プログラム 「研究開発型デザイナーの養成」
社会や生活で直面している問題をグローバルな視点で捉え、論理的に問題を構造化し課題発見できる分析能力を養う。(インテリジェンス・リテラシーの強化)
- デザイン・プロデュース系プログラム 「戦略提案型デザイナーの養成」
企業や経営精神、製品や顧客、満足度などに潜む複合的な情報を解読し、独自の洞察力で本質を捉える能力を養う。(マーケティング・リテラシーの強化)
- デザイン・マネージメント系:5系統20講座
デザインの視点で企画や製造、販売部門の統御能力を担う講座。
演習の模擬マネジメント形態で、マネージメント視点を理解させる。
講座名 1) ストラテジー・リーダーシップ系(新しいビジネス創造WS)
「戦略策定」「変革マネジメント」「意志決定マネジメント」「財務マネジメント」
2) バリュー・クリエイション系(新しい技術・仕組みの創造)
「調査研究手法」「コンセプト形成」「科学的手法活用」「情報分析・解析」
3) セールス・プロモーション系(説得力のあるプロモーション)
「プロモーション」「コンサルテーション」「リサーチング」「顧客リレーション」

- 4) オペレーション・マネジメント系(効率的なオペレーション)
「リソースマネジメント」「プロセスマネジメント」「生産性・品質マネジメント」「外部リソース構成」
- 5) マネジメント・エフェクティブネス系(人と組織の管理)
「組織・人材開発」「評価アセスメント」「プロジェクトマネジメント」「エンパワーメント」

■デザイン・プロデュース系:4系統4講座

新規商品やビジネスの創造、開発を企業トップと対等な立場で行うなどブランド戦略の創設・管理の能力を養う科目系列。演習の形態で、4つのテーマから行う企画提案・作品製作を行う。

- 講座名 1)「コーポレート・アイデンティティWS A・B」(美と個性の確立を通じて望ましい経営戦略)
2)「ビジュアル・アイデンティティWS A・B」(ビジュアルイメージ戦略、ベーシックデザインシステム)
3)「ブランド・アイデンティティWS A・B」(効果的なブランド力の向上策)
4)「プロダクト・アイデンティティWS A・B」(モノの価値創造)

■デザイン・ソリューション系:3系統12講座

複雑化した問題を様々な情報、技術、手法を取り入れ問題解決力を養う科目系列。演習の形態で、テーマ別(ユビキタス、ユニバーサル、エコロジー、インタラクション、TUI)としたソリューションによる提案・作品製作を行う。

- 講座名 1)デザイン・ソリューションA(ユビキタス研究)
「インタラクション系」「商品・製品系」「空間・環境系」
2)デザイン・ソリューションB(ユニバーサル研究)
「インタラクション系」「商品・製品系」「空間・環境系」
3)デザイン・ソリューションC(エコロジー(サステイナブル)研究)
「インタラクション系」「商品・製品系」「空間・環境系」
4)デザイン・ソリューションD(インタラクション研究)
「インタラクション系」「空間・環境系」
5)デザイン・ソリューションE(TUI研究)
「インタラクション系」

■高度専門職育成プログラムのインフラ整備事業

高度専門士を維持するため高度専門士の教科課程の下部構造とすべき既存の2年制の教科課程の“最適化開発”を行った。

	1) 造形・表現系 : 3分野 10講座	
(ビジュアル系)	「デッサン」	1年基本科目
	「構成 カラーシステムと色彩構成」	1年基本科目
	「構成 平面」	1年基本科目
	「Illustrator ロゴ・マーク作成術」	1年基本科目
	「Gパッケージデザイン演習」	2年専門士科目
(産業系)	「構成 カラーシステムと色彩構成」	1年基本科目
	「CADプレゼン」	1年標準科目
	「家具基本製図」	2年専門士科目
(モノ系)	「構成 立体」	1年基本科目
	「3Dモデリング」	2年専門士科目
	2) 総合基礎系 : 1分野 5講座	
	「総合基礎A」(3講座)	1年専門士科目
	「総合基礎B」(2講座)	1年専門士科目
	3) 専門デザイン系 : 2分野 9講座	
(ビジュアル系)	「広告デザイン演習」	2年標準科目
	「メディア企画演習」	2年専門士科目
	「広告イラスト演習」	2年標準科目
	「WEB infoサイト演習」	2年標準科目
(産業系)	「住空間デザイン演習」	2年標準科目
	「商業施設デザイン演習」	2年専門士科目
	「店頭SPディスプレイ演習」	2年専門士科目
	「ユニバーサルデザイン演習」	2年専門士科目
	「プロダクトメカニズム演習」	2年標準科目

③実証講座

- ・期間 : 平成19年12月10日～平成20年2月23日
- ・受講者の属性 : 本校卒業予定者、本校卒業生、一般
- ・場所 : 創造社デザイン専門学校

■デザイン・マネジメント系

- 講座名 1) ストラテジー・リーダーシップ系(新しいビジネス創造WS) 「戦略策定」
2) バリュー・クリエイション系(新しい技術・仕組みの創造) 「情報分析・解析」
3) セールス・プロモーション系(説得力のあるプロモーション) 「プロモーション」
4) オペレーション・マネジメント系(効率的なオペレーション) 「プロセスマネジメント」
5) マネジメント・エフェクティブネス系(人と組織の管理) 「プロジェクトマネジメント」

■デザイン・プロデュース系

- 講座名 1) 「コーポレート・アイデンティティWS A」
2) 「コーポレート・アイデンティティWS B」
3) 「ビジュアル・アイデンティティWS A」
4) 「ビジュアル・アイデンティティWS B」
5) 「ブランド・アイデンティティWS A」
6) 「ブランド・アイデンティティWS B」
7) 「プロダクト・アイデンティティWS A」
8) 「プロダクト・アイデンティティWS B」

■デザイン・ソリューション系

- 講座名 1) デザイン・ソリューションA(ユビキタス研究) 「空間・環境系」
2) デザイン・ソリューションB(ユニバーサル研究) 「商品・製品系」「空間・環境系」
3) デザイン・ソリューションC(エコロジー(サステイナブル)研究)
「インタラクション系」「商品・製品系」
4) デザイン・ソリューションD(インタラクション研究) 「インタラクション系」
5) デザイン・ソリューションE(TUI研究) 「インタラクション系」

(受講者の反応)

1) 自己の能力について	自信がもてるようになった	27%
	少し自信がもてた	40%
	まだ自信がない	33%
2) ものの見方考え方について	変わった	27%
	少し変わった	53%
	いままでと変わらない	20%
3) 職業について	理解が深まった	33%
	少し深まった	53%
	いままでと変わらない	13%

④その他

当事業は、学校教育の中にデザイン関連団体等の外部のステークホルダーや本校既存のシステム(再編・フィッティング)を取り入れた事業枠組みを構築し、その取り組みの中から生み出される新たな付加価値によって、開発クライテリアを発見し、教育レベルの向上と継続的な運営を担保することを目指して実施しています。また、その成果を提供(WEBサイト)を行い、デザイン業界、地域全体の波及効果を出して、持続発展的に行える事業として取り組んでいます。